



# 校長室だより

令和5年4月28日

No.3

今週は久しぶりにまとまった雨も降りましたし、少し肌寒いような日が続きましたね。でも、高等部3年生の宿泊学習の27日（木）28日（金）はまさに快晴！高3の生徒さんや担任の先生たちの強い思いが天に通じたか、日頃の行いがよかったからか、同行した坂本副校長のパワーか…。ランドマークタワー、製菓工場、あゆみ荘、横浜ラポール…いいな～、あ～行きたかった！（校長の心の叫び…）。

さあ、少し早いですがゴールデンウィークです。いろいろな予定を立てられているご家族もあるでしょうか。もちろん、ゆっくり過ごしてというのも新年度で疲れた心身にはいいことだと思います。校長は「でぶしょう」（二つの意味があります）ですから、人が集まる時期に集まるところには行かないということで、ゴロゴロ～ゴロゴロ～で、また「出不精」いや「デブ症」に…？

この時期になると青空には「こいのぼり」が定番…というのはもう古い発想なんでしょうか？最近あまり見かけなくなっているようにも思います。以前（10～20年くらい前？）は庭やベランダに立てた支柱から大きな鯉やふきながしが風になびく姿があちこちで見られましたが、う～ん、どうもそういう光景が少なくなっているような…。少子化の影響もあるのか、自宅近くでは1軒だけ…季節の風物詩がなくなっていくような寂しさや危機感も感じます。みなさんのお家やご近所ではいかがですか？

学校でも教室を見て回るといくつかの学年などで工夫して大小のこいのぼりをみんなで作ったり飾ったりしていました。私が若い頃も「隣の学年に負けない大きなこいのぼりを作るぞ！」なんて言って、子どもたちと何週間もかけてやたら大きなこいのぼりを作ったこともありました。みんなでうろこを貼ったり、大きな筆で色を塗ったりしたことを思い出します。こいのぼり、たなばた、もみじ、クリスマスツリー…こころは題材として、はずせないところでしょうか？でも、願い事をたんざくに書いたり、街中でもよく目にするツリーを作ったり…は、わかりやすく子どもたちも取り組みやすいと思いますが、こいのぼりってちょっと説明しにくいところもありますね。ましてや、昔のようにあちこちで見かけられれば、「あれを作ろう」で取り組みやすいのでしょうか…。

とは言え、学校教育の役割のひとつには「文化の継承」という側面もありますので、ここは子どもたちにもしっかり伝えていきたいところですね。そういえば「こいのぼり」の歌も最近ほとんど聞かなくなりましたね。よく知られているのが文部省唱歌としての「いらかの波と～雲の波～」。こちらは勇壮なこいのぼりが目に浮かびます。あと「屋根より高い～こいのぼり～」という童謡もありますね。こちらは青空をのんびり泳ぐ姿が目に見え浮かびます。え？どちらも知らない？う～ん、若い世代のパパ、ママには馴染み薄いかな？

青空を堂々と泳ぐ鯉のようにほんごうの子どもたちも元気にのびのびと成長していったほしいものと思います。



厚木市若宮公園のこいのぼり